

話者：心学修正舎理事 後藤三景

石門心学講舎

第20回 1月の定例会輔は21日に講演会を兼ねて行います。
1月21日(土)新春・講演会、及び交流懇親会として行います。

※日・時・場所が変更になっていますのでご注意ください。

◎会場／(ホテル) コープ・イン・京都 小ホール
〒604-8113 京都市中京区柳馬場蛸薬師上ル井筒屋町411
フリーダイヤル:0120-79-6600 TEL:075-256-6600

◎時間／18時-19時30分：講演会
19時40分-20時40分：交流懇親会

講演／『明治初期、京都が生んだ国際人、平井金三』

講師／舞鶴高専教授 吉永進一氏

◎聴講料／懇親会も含めて一切「無料」です。

◎お申込み先／下記、京町家キャンパス林までお名前ご住所を明記の上、FAXでお申込み下さい。(定員60席)

第21回 2月21日(火)18時30分-20時

※会場は京町家キャンパスです。

『心学手引き草(12)』「梅岩の言葉から(6)」
「儒教の道統(1)」

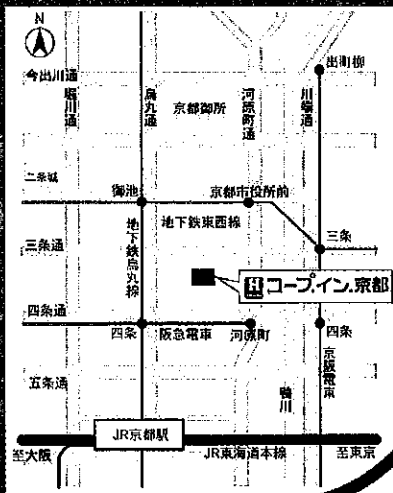
第22回 3月21日(水)18時30分-20時

※会場は京町家キャンパスです。

※定例の第3火曜日が祝日のため、会場の都合で曜日を変更、ご注意ください。

『心学手引き草(13)』「梅岩の言葉から(7)」
「儒教の道統(2)」

☆講師のブログ「愚者のつづやき」は右記HPからお読み頂けます！ <http://shuseisha.info/>



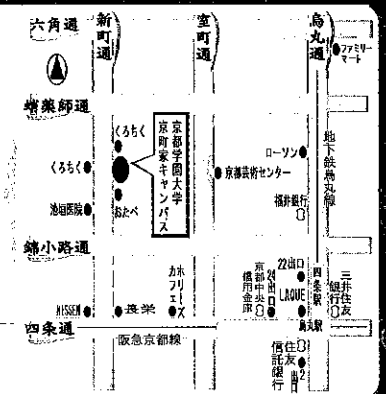
◎1/21 会場地図

* 聴講無料 *

※1/21 会場のお申し込みは下部分 FAX で↓
2/21, 3/21 会場のお申し込み・お問い合わせ：
京都学園大学京町家キャンパス「新柳居」
京都市中京区新町通錦小路上ル百足屋町384
電話番号：(075) 204-9160(日祝定休)

※バイクでのご来場はご遠慮下さい。

京町家キャンパスブログ公開中！京都学園大学のHPまたは「つれづれ京町家キャンパス」で検索ですぐに出てきます。町家での授業の様子や、市民講座のご案内など随時更新中。ぜひ一度ご覧下さい。 hypp://machiycampus.net/wp/



◎2/21,3/21 会場

「講演会」申込書1月21日(土)講演会・懇親会に申込ます。※切り取らずにそのままFAXして下さい。

◎FAX: (075)204-9161 / 京都学園大学・京町家キャンパス(林)

(お名前)

(ご住所)

新春講演会へのご案内

拝啓

向寒の候、舎員の皆様にかかれましては 御健勝にお過ごしのことと拝察申し上げます。お陰様で昨年 4 月に会輔を始めてから 二度目のお正月を迎えんとしており 心学修正舎の活動にご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

就きましては 来年早々 1 月 21 日(土) に心学修正舎として初めて 1 月会輔を兼ねて外部講師による「講演会」を開催することと致しましたので 舎員の皆様には是非 ご参加を頂きたくお誘い申し上げる次第で御座います。

講師は舞鶴高専の吉永進一先生にお願いし “明治初期 京都に生まれた国際人、平井金三” と題してお話しして頂きます。平井金三は幕末 1859 年、京都生まれ 文明開化の世風の中で日本の伝統的思想・風土をいち早く アメリカに働き掛けた国際人の “先駆け” とも言う方であり 吉永先生は隠れた先駆者としての “平井金三” の研究と顕彰に務められてこられました。

平井金三は 明治 25 年アメリカのシカゴで「万国博覧会」が開催された時 同時に開かれた「万国宗教会議」に日本の宗教関係者と共に参加し 得意の英会話力を発揮して 日本の宗教風土の特質を論じ 大喝采を博し、その演説の中で 日本の文化・宗教風土の特質は “総合宗教的” と論じ、その代表例として…石田梅岩もよく引用している “分け登る麓の道は異なれど 同じ高嶺の月を見るかな” という歌を引いて 石田梅岩の「心学」を始めて海外に紹介した…とのことであります。平井金三は 明治初期の京都人の気質・気概を感じさせる所があり、私達「梅岩心学」を学ぶ者としても 是非知っておかねばならぬ郷土の先人と考え 第 1 回の講演会のテーマに選びました。混迷を深めつつある世界情勢の中で 日本の思想文化の特質を持つ「梅岩心学」にはその存在価値があるとも 思っております。

併せて今回は 舎員の皆様との交流の機会として講演会後に 交流懇親会を設営致しましたので是非 お運び頂きたくお願い申し上げます。十分ご満足頂ける準備ではありませんが “梅岩の心” を守り “席銭入り申さず (聴講その他一切無料)” でささやかに計画させて頂きました。会場は 60 名程の小ホールですので 京都近郊、市内の生涯学習関係のルートでも広くご案内しておりますので 舎員の皆様には早めにご出席のお返事を頂きたく存じます。 何卒宜しくお願い申し上げます。 敬具

記

1 月 21 日(土) (ホテル)コープイン京都・小ホール

(電話) 075-256-6600 中京区柳馬場通り蛸薬師上がる東側

講演会 (18 時—19 時 30 分) 交流懇親会 (19 時 40 分—20 時 40 分)

演題…「明治初期 京都に生まれた国際人、平井金三」

講師…舞鶴高専 吉永進一 先生

平成 23 年 12 月吉日

(社) 心学修正舎

理事長 小谷 達雄

新春講演会へのご案内

拝啓

向寒の候、舎員の皆様にかかれましては 御健勝にお過ごしのことと拝察申し上げます。お陰様で昨春 4 月に会輔を始めてから 二度目のお正月を迎えんとしており 心学修正舎の活動にご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

就きましては 来年早々 1 月 21 日(土) に心学修正舎として初めて 1 月会輔を兼ねて外部講師による「講演会」を開催することと致しましたので 舎員の皆様には是非 ご参加を頂きたくお誘い申し上げる次第で御座います。

講師は舞鶴高専の吉永進一先生にお願いし “明治初期 京都に生まれた国際人、平井金三” と題してお話しして頂きます。平井金三は幕末 1859 年、京都生まれ 文明開化の世風の中で日本の伝統的思想・風土をいち早く アメリカに働き掛けた国際人の “先駆け” とも言う方であり 吉永先生は隠れた先駆者としての “平井金三” の研究と顕彰に務められてこられました。

平井金三は 明治 25 年アメリカのシカゴで「万国博覧会」が開催された時 同時に開かれた「万国宗教会議」に日本の宗教関係者と共に参加し 得意の英会話力を発揮して 日本の宗教風土の特質を論じ 大喝采を博し、その演説の中で 日本の文化・宗教風土の特質は “総合宗教的” と論じ、その代表例として…石田梅岩もよく引用している “分け登る麓の道は異なれど 同じ高嶺の月を見るかな” という歌を引いて 石田梅岩の「心学」を始めて海外に紹介した…とのことであります。平井金三は 明治初期の京都人の気質・気概を感じさせる所があり、私達「梅岩心学」を学ぶ者としても 是非知っておかねばならぬ郷土の先人と考え 第 1 回の講演会のテーマに選びました。混迷を深めつつある世界情勢の中で 日本の思想文化の特質を持つ「梅岩心学」にはその存在価値があるとも 思っております。

併せて今回は 舎員の皆様との交流の機会として講演会後に 交流懇親会を設営致しましたので是非 お運び頂きたくお願い申し上げます。十分ご満足頂ける準備ではありませんが “梅岩の心” を守り “席銭入り申さず (聴講その他一切無料)” でささやかに計画させて頂きました。会場は 60 名程の小ホールですので 京都近郊、市内の生涯学習関係のルートでも広くご案内しておりますので 舎員の皆様には早めにご出席のお返事を頂きたく存じます。 何卒宜しくお願い申し上げます。 敬具

記

1 月 21 日(土) (ホテル)コープイン京都・小ホール

(電話) 075-256-6600 中京区柳馬場通り蛸薬師上る東側

講演会 (18 時—19 時 30 分) 交流懇親会 (19 時 40 分—20 時 40 分)

演題…「明治初期 京都に生まれた国際人、平井金三」

講師…舞鶴高専 吉永進一 先生

平成 23 年 12 月吉日

(社) 心学修正舎

理事長 小谷 達雄